

■島根県公立大学法人評価委員会からの平成28年度業務実績に関する評価を受けての改善策

評価委員会からの「大学の教育研究等の質の向上」項目に対する評価の遅れている点(課題がある点)	島根県立大学の改善策
<p>○ 一般入試志願倍率は、浜田キャンパスで7.12倍(昨年度8.39倍)、松江キャンパスでは3.14倍(昨年度3.28倍)となり、昨年度より減となった。出雲キャンパスでは、5.94倍(昨年度2.54倍)となり、昨年度より上昇したものの、過去の水準までは回復していないことから、志願倍率の向上の取組みを期待する。</p>	<p>□各キャンパスで新入生を対象に志願動向調査を実施し、進路決定プロセス、情報源、相談相手、入学理由等様々な視点で志願動向の調査を行い学内に公開する。 □山陰を除く県外184校の高等学校については、3キャンパスで分担し、効率的に高校訪問を実施する。また、志願者数の増加につなげるため、戦略的に重点エリアの学校訪問、説明会等への参加を行い、県内外へ向けた学生募集活動に取り組む。 □県外高校進路指導担当教員を対象にした説明会を広島市で初開催する。 □各キャンパスで母校訪問プロジェクトを初実施する。 □各オープンキャンパスにおいて、高校生のニーズを酌んだ踏まえたイベント(浜田:「1泊2日模擬研究」など)を開催する。</p>
<p>○ 大学院北東アジア開発研究科(後期)課程について、入学定員2名のところ、入学者がおらず、入学定員充足率が0%だった。</p>	<p>□平成29年5月現在、北東アジア開発研究科(後期)課程の在籍者数は20名で収容定員6名を大きく超過している。在籍者数とのバランスを図りつつ引き続き優秀な学生の確保に努める。 □本学教員が海外出張の際に、院生募集に係る現地説明会のニーズ調査や大学院案内、募集要項の配布などの広報活動を行う。また、奨学金等、留学生への経済支援の実施状況を整理した資料を作成し情報提供も行う。</p>
<p>○ FDの取組みについて、浜田・松江キャンパスは授業公開が試行実施であり、学生の授業アンケート回答率、専任教員によるフィードバック提出率がこの3年間で最低の数値となっている。一方、出雲キャンパスでは、全教員が授業公開を行い、報告書を提出しているほか、学生アンケート回答率、専任教員によるフィードバック提出率は高水準である。浜田・松江キャンパスでも今後さらなる取組みの強化を行い、組織的なFDの取組みを進められたい。</p>	<p>□浜田キャンパスにおいては、前年度の試行的な取組みを踏まえ、本年度から「授業公開」を本格実施する。 □松江キャンパスの前年度までの試行的な取組みを踏まえ、学内授業公開(全専任教員による全授業を対象、後期の1か月間)を実施する。また、平成30年度以降の新しい学内体制におけるFD活動のあり方について検討する。授業公開における学外第三者意見聴取の取組み(一部の授業では実施済)について、新体制となる松江キャンパス全体の進め方を検討する。</p>
<p>○ 浜田キャンパス21.7%(昨年度28.8%)、出雲キャンパス51.2%(昨年度63.8%)、松江キャンパス47.0%(昨年度69.8%)となった。県内入学率は近年数年間をみると減少傾向にあり、県内入学率の向上の取組みを期待する。</p>	<p>□新学部・学科説明会を山陰6会場で開催する。また、県内高校との進路指導懇談会を浜田キャンパス、松江キャンパスで開催し、各キャンパスの学びの特徴や入試制度等について情報提供を行う。 □本学主催で島根県立大学説明会を県内高校で初実施し、PRを行う。 □浜田キャンパスでは、春と秋の2度、島根県内の高校訪問を実施し、総合政策学部の入試制度等について情報提供を行う。 □出雲キャンパスでは、5月、8月、10月の3回、島根県内の高校訪問を実施し、新設する健康栄養学科や看護学科の入試制度等について情報提供を行う。 □松江キャンパスでは、島根県内の高校訪問を強化(時期は別途検討)し、人間文化学部及び短期大学部の入試制度等の情報提供を行う。</p>
<p>○ 就職希望者に占める県内就職者は、浜田キャンパス23.0%(昨年度25.0%)、出雲キャンパス47.0%(昨年度59.5%)、松江キャンパス68.0%(昨年度67.5%)となった。県内就職率も近年数年間をみると減少傾向にあることから、県立大学として、地域により多くの人材を輩出するように、県内就職率の取組を期待する。</p>	<p>□浜田キャンパスでは、島根の魅力を感じ、自分自身の深掘りをしてもらうためのツアー(起業者・企業訪問)をジョブカフェしまねと連携して実施する。また、島根の魅力や地域で働き暮らしていくことの魅力について理解を深め、関心を高めていくことを目的とした学生と企業の交流プログラム「ワークカフェ」を開催する。 □出雲キャンパスでは、卒業生・修了生とのフォローアップ交流会への参加を学生へ周知する。 □松江キャンパスでは、島根県中小企業家同友会と連携して、学生の「県内企業を知る」機会を増やすための「同友会の日」を秋学期より設ける。</p>
<p>○ 海外留学、海外研修など国際交流参加者は147名となり、昨年度より47名の増となったものの、目標の年間180人に対し147名となり目標達成とはならなかったことから、さらなる参加者増加の取組みを期待する。</p>	<p>□海外留学については、保護者進路懇談会にて国際交流センターブースを設置し、保護者及び学生への情報提供を行う。 □学生自らが計画する様々な海外活動を支援する制度「海外実践活動支援制度(GLOBAL DREAM HUNT)」を創設し、国際交流参加者増加に取り組む。 □「Get Set Meeting(隔月開催)」を継続開催し、留学経験者から体験談を通じて国際交流への興味・関心を高める。 □学生実施の国際交流海外体験報告会に職員が参加し、留学以外の海外研修、ボランティアなどのプログラムを紹介すると同時に、安全対策についてアドバイスを行う。 □留学を考えている学生を対象とした特別講演会を開催する。</p>